

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	札幌保健医療大学
設置者名	学校法人 吉田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
保健医療学部	看護学科	夜・通信		1	104	105	13	
	栄養学科	夜・通信			63		64	13
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考) 栄養学科は、2017年度に開設し、学年進行中のため2019年度に配置されている授業科目により記載している。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp/about/overview/information 看護学科シラバス (p. 28~29)、栄養学科シラバス (p. 32~34) に記載
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌保健医療大学
設置者名	学校法人 吉田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人吉田学園ホームページ 情報公開ページにて公表 (https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/) ※「財務等に関する情報」の「組織構成」の「理事(役員)一覧」にて公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤 の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元(株)北洋銀行代表取締役副頭取、(公財)那原記念財団理事	2019.4.14～ 2021.4.13	経営企画及び管理
非常勤	サツドラホールディングス(株)代表取締役会長	2019.4.14～ 2021.4.13	経営企画及び管理
非常勤	(株)ムラタ代表取締役会長	2019.6.1～ 2021.4.13	経営企画及び管理
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌保健医療大学
設置者名	学校法人 吉田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)には、授業科目/担当教員名/対象年次・学年/選択・必修/授業形態(講義・演習・実験・実習)/単位数/授業目的/到達目標/テキスト・参考書/評価方法・基準/履修上の留意事項/各回の学修の主題・授業内容が記載されている。隣地実習に係る科目は実習方法を記載している。</p> <p>また、履修要項を作成し、「本学の教育理念」「教育目的」「三方針(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)」「履修について」「授業について」「試験について」「単位・成績について」の項目を共通事項として学生に周知している。</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成は前年度12月から2月にかけて、各科目責任者が作成し教務委員会へ提出する。教務委員会では提出された授業計画書(シラバス)の内容(授業目的、到達目標、テキスト・参考書、評価方法・基準)が適切であるかどうか確認し各科目の授業計画を承認する。</p> <p>授業計画書(シラバス)は履修要項とともに、当該年度4月に学生向けに冊子として配付するとともに、ホームページに公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp/about/overview/information
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の履修方法については、札幌保健医療大学履修規程(以下「履修規程」という。)に規定している。試験については履修規程第13条の規定に基づき制定した、札幌保健医療大学試験規程に規定している。</p> <p>学修成果の評価として開講学期末に科目責任者から提出された成績は、教務委員会、教授会の審議を経て単位認定する。</p> <p>成績は、秀・優・良・可・不可で評価し可以上を合格とし単位修得を認定する。なお、規定された出席回数を満たさない科目は「失格」、既修得単位の認定を受けている科目は「認定」学期末に在学していない学生は「評定不能」、と表示している。</p> <p>進級は、後期の単位認定を行う際に学科、学年ごとに設定された進級要件を満たしているか教務委員会、教授会で判定し対象学生の進級を決定する。</p> <p>卒業は、4年次の後期単位認定を行い、科目区分ごとに設定された必修科目・選択科目の合計124単位以上が修得されているかどうか判定し対象学生の卒業を決定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAの算出方法は以下の通り、</p> $\text{GPA} = (\text{「秀」の単位数} \times 4 + \text{「優」の単位数} \times 3 + \text{「良」の単位数} \times 2 + \text{「可」の単位数} \times 1) \div \text{総履修登録単位数}$ <p>※算出された数値の小数点第3位以下は切り捨て</p> <p>GPAに関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 転学科(栄養学科)については、単位認定した科目の成績は「認定」となることからGPA算出の対象になりません。 (2) 履修訂正期間内に取り消し手続きを行わなかった場合や、履修放棄した場合などは不合格科目もGPAの算出に含まれます。 (3) 累積成績に基づくGPAを算出する際に、再履修科目が合格した場合は、当該科目を履修以前に不合格となった科目(単位数)は計算式(分母)から除外します。 (4) 入学前に修得した単位のうち、本学で既修得単位として認定した科目は、GPAの対象にはなりません。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.sapporo-hokeniryous-u.ac.jp/about/overview/information</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学の保健医療学部看護学科・栄養学科は、教育理念・目的をふまえ、学部教育目的的「人間と自然、多様な文化や社会に関する知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」「専門分野の基礎知識・技術・態度」「多職種との連携協働力」「生涯学習力」の6つの資質・能力のもと、下記の到達目標に応じた看護師、管理栄養士の専門職業人としての人間的基盤の形成および、各専門的能力を修得するとともに各国家試験受験資格の要件となる単位を含む124単位以上の修得を求めます。これらの方針を満した者は、看護学科においては学士(看護学)、栄養学科においては学士(栄養学)の学位を授与します。</p> <p>【看護学科】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 職業人として、日本語および英語の運用能力、ならびに情報リテラシーの基礎を身につけ、これらを用いて論理的な分析と思考・判断および表現する能力を有している。 (2) 自己の良心と社会規範に従い、社会の一員としての責任感のもとに自己を統制し行動できるとともに、社会のために積極的に関与できる態度を有している。 (3) 生命への畏敬の念と人間の尊厳を守るための倫理的態度を有している。 (4) 人間と生活、心身の健康、社会の直面する諸課題についての基礎知識を習得し、人間・健康・社会の関係を体系的に理解する能力を有している。 (5) 看護の目的と対象となる個人・家族・集団の特性を理解し、健康課題の特定と解決に必要な看護実践ができる基礎的能力を有している。 (6) 保健医療福祉体制のもとで、看護職と他職種の役割について認識し、多職種とチーム連携・協働するために必要な基礎的能力を有している。 (7) 自己の看護能力の向上のために、最新の知識・技術を学び続ける学習態度と看護の課題を発見し、課題を解決する能力を有している。 	

【栄養学科】

- (1) 職業人として、日本語および英語の運用能力、ならびに情報リテラシーの基礎を身につけ、これらを用いて論理的な分析と思考・判断および表現する能力を有している。
- (2) 自己の良心と社会規範に従い、社会の一員としての責任感のもとに自己を統制し行動できるとともに、社会のために積極的に関与できる態度を有している。
- (3) 生命への畏敬の念と人間の尊厳を守るための倫理的態度を有している。
- (4) 社会や環境の人間への影響、および健康との相互関係について基礎的な知識を有し、人間の生活の機構、環境の変化に対する機構、ならびに疾患の成因から治療、保健医療福祉体制について基礎的な知識を有している。
- (5) 栄養学、食品学の基礎的な知識・技術を有し、あらゆる健康レベルおよび全てのライフステージにある人々を対象に、栄養と食生活に関する課題を評価・判定し、適切な栄養・食事管理を総合的にマネジメントする基礎的な能力を有している。
- (6) 地域社会や職域等における健康・栄養問題とその要因を総合的に評価および判定し、効果的な教育や支援活動を実践できる基礎的な能力を有している。
- (7) 望ましい栄養状態、食生活の改善・管理を目的に、関連職種と連携・協働する基礎的な能力を有している。
- (8) 生涯にわたって自ら専門知識や技術の向上をめざして、自己研鑽する能力を有している。

卒業の認定は、学則第 42 条の規定に基づき学長が卒業を認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

[https://www.sapporo-hokeniryou-u.ac.jp/about/
overview/information](https://www.sapporo-hokeniryou-u.ac.jp/about/overview/information)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	札幌保健医療大学
設置者名	学校法人 吉田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人吉田学園ホームページ 情報公開ページ(経営及び財政に関する情報)にて公表 (https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/)
収支計算書又は損益計算書	学校法人吉田学園ホームページ 情報公開ページ(経営及び財政に関する情報)にて公表 (https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/)
財産目録	学校法人吉田学園ホームページ 情報公開ページ(経営及び財政に関する情報)にて公表 (https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/)
事業報告書	学校法人吉田学園ホームページ 情報公開ページ(経営及び財政に関する情報)にて公表 (https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/)
監事による監査報告(書)	学校法人吉田学園ホームページ 情報公開ページ(経営及び財政に関する情報)にて公表 (https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/)

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp/about/overview/information

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp/about/overview/information

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健医療学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp/about/overview/information ）
（概要） 本学の教育理念である「人間力教育」を根幹に、「保健医療に携わる専門職業人として、社会生活にも知的活動にも必要な知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、創造的思考力を修得し、専門分野に関する基礎的な知識および基本的な技術と態度、多職種との連携・協働力、さらに生涯にわたり成長し続けるための基盤となる資質と能力を培う」ことを教育の目的としています。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp/about/overview/information ）
（概要） 本学のディプロマポリシー（学位授与方針）は以下の通り
<p>【看護学科】</p> <p>(1) 職業人として、日本語および英語の運用能力、ならびに情報リテラシーの基礎を身につけ、これらを用いて論理的な分析と思考・判断および表現する能力を有している。</p> <p>(2) 自己の良心と社会規範に従い、社会の一員としての責任感のもとに自己を統制し行動できるとともに、社会のために積極的に関与できる態度を有している。</p> <p>(3) 生命への畏敬の念と人間の尊厳を守るための倫理的態度を有している。</p> <p>(4) 人間と生活、心身の健康、社会の直面する諸課題についての基礎知識を習得し、人間・健康・社会の関係を体系的に理解する能力を有している。</p> <p>(5) 看護の目的と対象となる個人・家族・集団の特性を理解し、健康課題の特定と解決に必要な看護実践ができる基礎的能力を有している。</p> <p>(6) 保健医療福祉体制のもとで、看護職と他職種の役割について認識し、多職種とチーム連携・協働するために必要な基礎的能力を有している。</p> <p>(7) 自己の看護能力の向上のために、最新の知識・技術を学び続ける学習態度と看護の課題を発見し、課題を解決する能力を有している。</p>
<p>【栄養学科】</p> <p>(1) 職業人として、日本語および英語の運用能力、ならびに情報リテラシーの基礎を身につけ、これらを用いて論理的な分析と思考・判断および表現する能力を有している。</p> <p>(2) 自己の良心と社会規範に従い、社会の一員としての責任感のもとに自己を統制し行動できるとともに、社会のために積極的に関与できる態度を有している。</p> <p>(3) 生命への畏敬の念と人間の尊厳を守るための倫理的態度を有している。</p> <p>(4) 社会や環境の人間への影響、および健康との相互関係について基礎的な知識を有し、人間の生活の機構、環境の変化に対する機構、ならびに疾患の成因から治療、保健医療福祉体制について基礎的な知識を有している。</p> <p>(5) 栄養学、食品学の基礎的な知識・技術を有し、あらゆる健康レベルおよび全てのライフステージにある人々を対象に、栄養と食生活に関する課題を評価・判定し、適切な栄養・食事管理を総合的にマネジメントする基礎的な能力を有している。</p>

- (6) 地域社会や職域等における健康・栄養問題とその要因を総合的に評価および判定し、効果的な教育や支援活動を実践できる基礎的な能力を有している。
- (7) 望ましい栄養状態、食生活の改善・管理を目的に、関連職種と連携・協働する基礎的な能力を有している。
- (8) 生涯にわたって自ら専門知識や技術の向上をめざして、自己研鑽する能力を有している。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

<https://www.sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp/about/overview/information>)

(概要)

人間は常に環境の影響を受け、健康はその相互作用によって変化します。

「保健医療活動」は、健康の保持・増進、病気の予防、健康の回復を目的に人と環境に働きかけることで、最適な健康状態で生活が維持できるように特定専門分野の知識と技術をもって支援することです。

本学の教育課程は、保健医療における共通概念「人間」「環境」「健康」「保健医療活動」とその関係性を枠組みに「看護」「栄養と食生活」に係る専門職業人の育成をめざしています（図）。

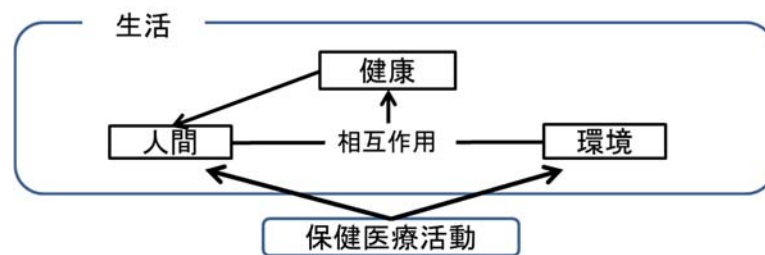


図. 教育課程編成の基本方針

本学は、教育課程の基本方針のもと、社会人としての基盤を形成する「基礎教育科目」群からなる基礎教育と看護職あるいは管理栄養士職としての専門職業人の基盤となる「専門基礎科目」「専門科目」群による専門教育で編成されています。

【看護学科】

看護学科は、教育課程の基本方針のもと、社会人としての基盤を形成する「基礎教育科目」群からなる基礎教育と看護職としての専門職業人の基盤となる「専門基礎科目」「専門科目」群による専門教育で編成されています。

●基礎教育

本学部の共通教育課程として、看護学科と栄養学科において共通科目（一部を除く）をもって構成されています。基礎教育課程は保健医療の共通概念である「人間」と「環境」を中心に、「学習と思考力」「言語と表現力」「人間と社会」の科目群から構成されています。

●専門教育

看護職としての基盤形成となる「専門基礎科目」および「専門科目」から編成されています。

- (1) 専門基礎科目では、基礎教育科目の学修を活用しながら、看護学の理論と実践の支持基盤として「人間」「環境」「健康」の観点から保健医療福祉に関する学修をします。「個人と健康」「社会と健康」の科目群から構成されています。

(2) 専門科目では、基礎教育科目と専門基礎科目を基盤にして、看護学の理論と実践を体系的かつ系統的に学修します。「看護の基本」「人間の発達段階と看護活動」「看護の統合と探究」および「公衆衛生看護学」の科目群から構成されています。

【栄養学科】

栄養学科は、教育課程の基本方針のもと、社会人としての基盤を形成する「基礎教育科目」群からなる基礎教育と管理栄養士職としての専門職業人の基盤となる「専門基礎科目」「専門科目」群による専門教育で編成されています。

●基礎教育

本学部の共通教育課程として、看護学科と栄養学科において共通科目（一部を除く）をもって構成されています。基礎教育課程は保健医療の共通概念である「人間」と「環境」を中心に、「学習と思考力」「言語と表現力」「人間と社会」の科目群から構成されています。

●専門教育

管理栄養士職としての基盤形成となる「専門基礎科目」および「専門科目」から編成されています。

(1) 専門基礎科目では、基礎教育科目の学修を活用しながら、専門科目を修得するうえでの基礎となる知識・技術の修得を目的として系統的に学修します。「社会・環境と健康」「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」「食べ物と健康」の科目群から構成されています。

(2) 専門科目では、基礎教育科目と専門基礎科目を基盤として、管理栄養士に求められる能力を身につけるために、体系的・実践的に学修します。「管理栄養士論」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「給食経営管理論」「総合演習」「統合科目」「臨地実習」の科目群から構成されています。

入学者の受入れに関する方針（公表方法）：

<https://www.sapporo-hokeniryoku-u.ac.jp/about/overview/information>

（概要）

本学は、保健医療（看護学、栄養学）の分野における学修と実践活動への意欲ならびに、それらを実現できる適性と能力を備え、特に本学への入学を希望する人を求めます。

(1) 確かな学力：

基礎的な知識をもち、学習意欲が旺盛で、積極的に課題解決に取り組む人。

(2) 保健医療への関心：

人々の健康と生活を支える保健医療への興味・関心をもっている人。

(3) 豊かな社会性：

社会の一員として責任をもち、相手の立場になって考え、様々な人と協力し合いながら行動できる人。

(4) 強い向上心：

保健医療に携わる専門職業人を通して社会の役に立ちたいという意欲をもち、生涯にわたり自己の向上に努力する人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.sapporo-hokeniryoku-u.ac.jp/about/overview/information>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1人	－					1人
保健医療学部	－	16人	6人	11人	9人	6人	48人
	－	人	人	人	人	人	人
－	人	－					人
	－	人	人	人	人	人	人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		59人					59人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.sapporo-hokeniryou-u.ac.jp/about/overview/information					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>FD活動については、FD委員会が、年度毎のFDテーマに基づく年次計画を立てて主催している。その活動内容は、FD研修会、学術セミナー、学生による授業評価アンケートの実施である。</p> <p>2018（平成30）年度には、FD委員会を11回開催して必要な事項を審議して、FD研修会5回、学術セミナー3回及び授業評価アンケートを実施しました。</p> <p>【実施したFD研修会】</p> <p>第1回：5月10日（木）、テーマ「ルーブリックについて」</p> <p>第2回：10月17日（水）、テーマ「学生の自主性とやる気を引き出すために」</p> <p>第3回：11月30日（金）FD・SD研修会。テーマ「情報モラル・セキュリティについて」</p> <p>第4回：11月～1月、授業見学。各教員が希望する授業の見学を行う。</p> <p>第5回：12月17日（月）札幌大谷大学との合同FD・SD研修会。テーマ「科学研究費補助金について」事務局主催、FD委員会共催。</p> <p>【実施した学術セミナー】</p> <p>第1回：7月9日（月）、テーマ「異所性脂肪蓄積」</p> <p>第2回：9月15日（金）、科研費について①「科研費の事務手続き等について」②「科研費の申請実例」</p> <p>第3回：2月15日（金）、テーマ「統合失調症を患う人々の身体的体験 A氏が体験した‘主体の空白化’」</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健医療学部	180人	140人	77.8%	640人	524人	81.9%	若干名	4人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	180人	140人	77.8%	640人	524人	81.9%	若干名	4人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健医療学部	103人 (100%)	1人 (1.0%)	96人 (93.2%)	6人 (5.8%)
	(人 %)	(人 %)	(人 %)	(人 %)
合計	103人 (100%)	1人 (1.0%)	96人 (93.2%)	6人 (5.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 北海道大学病院・札幌医科大学付属病院・市立札幌病院 札幌東徳洲会病院・北海道医療センター・NTT 東日本札幌病院・札幌厚生病院・札幌禎心会病院 JR 札幌病院・手稲溪仁会病院・江別市立病院・旭川厚生病院・帯広厚生病院・道立羽幌病院 東邦大学医療センター大森病院・東京女子医科大学・東京歯科大学市川総合病院・東京品川病院 道立保健所・札幌市立大学助産学専攻科など				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
保健医療学部	103人 (100%)	93人 (90.3%)	7人 (6.8%)	3人 (2.9%)	0人 (0.0%)
	(人 %)	(人 %)	(人 %)	(人 %)	(人 %)
合計	103人 (100%)	93人 (90.3%)	7人 (6.8%)	3人 (2.9%)	0人 (0.0%)
(備考) 留年は学業成績不振により進級要件を満たさなかった学生と休学生の合計。 中途退学者は、進路変更によるものが多い。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)には、授業科目/担当教員名/対象年次・学年/選択・必修/授業形態(講義・演習・実験・実習)/単位数/授業目的/到達目標/テキスト・参考書/評価方法・基準/履修上の留意事項/各回の学修の主題・授業内容が記載されている。隣地実習に係る科目は実習方法を記載している。</p> <p>また、履修要項を作成し、「本学の教育理念」「教育目的」「三方針(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)」「履修について」「授業について」「試験について」「単位・成績について」の項目を共通事項として学生に周知している。</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成は前年度12月から2月にかけて、各科目責任者が作成し教務委員会へ提出する。教務委員会では提出された授業計画書(シラバス)の内容(授業目的、到達目標、テキスト・参考書、評価方法・基準)が適切であるかどうか確認し各科目の授業計画を承認する。</p> <p>授業計画書(シラバス)は履修要項とともに、当該年度4月に学生向けに冊子として配付するとともに、ホームページに公表している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目の履修方法については、札幌保健医療大学履修規程(以下「履修規程」という。)に規定している。試験については履修規程第13条の規定に基づき、札幌保健医療大学試験規程を規定している。</p> <p>学修成果の評価として開講学期末に科目責任者から提出された成績は、教務委員会、教授会での審議を経て単位認定される。</p> <p>成績は、秀・優・良・可・不可で評価し可以上を合格とし単位修得を認定する。なお、規定された出席回数を満たさない科目は「失格」、既修得単位の認定を受けている科目は「認定」学期末に在学していない学生は「評定不能」、と表示している。</p> <p>進級は、後期の単位認定を行う際に学科、学年ごとに設定された進級要件を満たしているか教務委員会、教授会での判定し進級学生を決定する。</p> <p>卒業は、4年次の後期単位認定し、科目区分ごとに設定された必修科目・選択科目の合計124単位以上が修得されているかどうか判定し卒業学生を決定する。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健医療学部	看護	124 単位	有・無	年間 40 単位
	栄養	124 単位	有・無	年間 45 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法： https://www.sapporo-hokeniryou-u.ac.jp/about/overview/information		
(1) 保健師国家試験受験資格の取得のための履修希望者選抜基準として規定。				
(2) 年度末の成績通知にGPAを記載し履修計画や履修指導に活用。				
(3) 学年担任が、学修指導を行う際に活用。				
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp/about/overview/information>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
保健医療 学部	看護学科	1,500,000円	300,000円	0円	
	栄養学科	1,050,000円	300,000円	0円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学年担任制をとり、必要に応じて面談を実施し修学等をトータルに支援する体制を敷いている。 また、教員がオフィスアワーを設定し、修学支援等について相談しやすい環境作りをしている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア開発委員会が主体となり、学科毎の進路支援スケジュールを策定し、各種講演、国家試験対策を実施している。また、「就職活動のてびき」冊子を学科毎に作成し学生に配付している。 さらに就職支援として、キャリア開発委員会、キャリア支援室および学年担任が連携して、学内説明会・履歴書作成指導・就職模擬面接を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 健康管理室では、学生の健康情報について管理し必要に応じて教職員と情報共有している。また、感染症予防等についての啓発を行っている。 学生相談室を設置し、学生相談員2名により週に2回の相談室を開室している。学生相談室では健康管理室と必要な情報を共有し心身の健康支援体制をとっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp/about/overview/information>